

目 次

1	入学者受入方針 [アドミッション・ポリシー].....	2
2	募集人員	3
3	出願要件	4
4	推薦人数	4
5	入試方法	4
6	出願手続	6
7	合格発表	8
8	入学手続	9
9	推薦入学辞退	10
10	授業料等	10
11	奨学金制度	10
12	授業料等の減免制度	11
13	福利厚生等	12
14	サークル活動	12
15	特別授業の実施	12
16	個人情報の取扱い	12

富山県立大学の拡充計画

○ 看護学部の新設について

平成 31 年 4 月に「看護学部」(定員 120 名)を設置します。これに伴い、工学系単科大学から脱皮し、医療・看護分野においても有用な人材を育成します。

○ キャンパスの整備について

平成 31 年 4 月に看護学部専用の富山キャンパスが、その翌年には射水キャンパスに新たな校舎や学生会館が完成し、施設をより一層充実させます。

このように、富山県立大学は、富山県及び地域の発展のため、魅力ある大学として、「ドンドンマスマス」発展していきます。

1 入学者受入方針【アドミッション・ポリシー】

富山県立大学は、科学技術の素養に富み人間性豊かな人材、そして創造力と実践力を兼ね備え、地域および社会に貢献できる人材の育成を教育の基本方針としています。

(1) 工学部

工学部では、21世紀の重要な課題である「自然や人間に優しい技術の創出」に役立つ教育研究を重点として、しっかりとした専門的学力と深い探究心を育てることに力を注いでいます。さらに、かの「万能の天才」レオナルド・ダ・ヴィンチの旺盛な創造意欲や好奇心に学び、新たな可能性にチャレンジする気概を育てることをめざしています。

以上のような教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った学生の入学を希望します。

- 1 自然科学に興味を持ち、科学技術の基盤となる理系の基礎学力がある。
- 2 困難な問題に直面しても、問題の解決に向けて努力しようとする。
- 3 自分で考え、自分の言葉で表現しようとする。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して社会に貢献したいと思う。

機械システム工学科では特に次のような人を求めます

機械工学分野の基礎知識と学力を身につけ、幅広い視野をもって機械技術者の立場から地球環境問題などの今日的課題に立ち向かう意欲のある人

知能ロボット工学科では特に次のような人を求めます

機械・電子・情報の工学分野の基礎知識と先端技術を身につけ、幅広い視野で次世代ロボットを支える賢いシステムの創造と設計に挑戦する意欲のある人

電子・情報工学科では特に次のような人を求めます

人間に優しい高度情報社会の実現に向けて、コンピュータと情報ネットワークの高度化、豊かな情報メディアの構築と信頼性の高い情報通信システムの開発に情熱を持つ人

環境・社会基盤工学科では特に次のような人を求めます

循環型社会の構築、自然との共生及び地球環境保全に貢献する知識・技術を身につけ、広い視野にたってさまざまな環境問題を解決しようとする意欲のある人

生物工学科では特に次のような人を求めます

環境調和型社会の実現に向けて、グリーンバイオテクノロジーの視点から研究・開発を行い、健康、食料、環境などの課題を解決する意欲を持つ人

医薬品工学科では特に次のような人を求めます

健康長寿社会の実現に向けて、工学の視点から研究・開発・製造を行い、優れた医薬品や医療技術を生み出す意欲を持つ人

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【推薦入試】

英語、数学の基礎学力テストを課すとともに、面接において論理的な思考力、判断力等を評価し、これらと出願書類の内容を総合して選抜します。

(2) 看護学部

看護学部では、幅広い教養と人々への共感的態度を備えた人間性豊かな人材、さらに、創造力、実践力及び探究心を兼ね備え、多職種と協働しながら地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

以上の教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った人の入学を希望します。

- 1 人々の健康や生活に関心を持ち、幅広い基礎学力がある。
- 2 困難な課題に直面しても、課題の解決に向けて主体的に取組み、努力しようとする。
- 3 多様な考え方を尊重しながらも、自分の考えを表現し、他者との関係性を築いていける。
- 4 自然・環境や人間を大切に、自らの活動を通して地域社会に貢献したいと思う。

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、以下の選抜方式を実施します。

【推薦入試】

英語、数学の基礎学力テストを課すとともに、論理的な思考力や表現力等を評価する小論文、コミュニケーション能力や判断力等を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

2 募集人員

学 部	学 科	入学 定員	募 集 人 員				
			推 薦 入 試	前 期 日 程		後 期 日 程	
				うち県外	うち職業科		
工 学 部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	60名	13名	3 学 科 計 8 名 以 内 (各学科3名以内)	3 学 科 計 4 名 程 度 (県内のみ)	39名	8 名
	知 能 ロ ボ ッ ト 工 学 科	60名	13名			39名	8 名
	電 子 ・ 情 報 工 学 科	80名	18名			52名	10名
	環 境 ・ 社 会 基 盤 工 学 科	55名	13名	1 名 以 内	1 名 程 度 (県内のみ)	36名	6 名
	生 物 工 学 科	40名	10名	2 学 科 計 2 名 以 内 (各学科2名以内)	2 学 科 計 2 名 程 度 (県内のみ)	26名	4 名
	医 薬 品 工 学 科	35名	10名			23名	2 名
看護学部看護学科		120名	48名 (県内のみ)	—	—	62名	10名
計		450名	125名	11名以内	7 名 程 度 (県内のみ)	277名	48名

- ・職業科とは、機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科、環境・社会基盤工学科については、文部科学省学校基本調査にいう「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。生物工学科、医薬品工学科については、「工業に関する学科」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。
- ・県内及び県外とは、高等学校等の所在地をいう。
- ・一般入試については、別冊の「学生募集要項 一般入試」を参照のこと。

3 出願要件

(1) 工学部

次の①から③までのいずれにも該当し、出身学校長が責任を持って推薦できる者とする。

① 次のアからウまでのいずれかに該当する者

ア 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者又は平成30年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月修了見込みの者又は平成30年度内に修了した者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年3月修了見込みの者又は平成30年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 看護学部

次の①から③までのいずれにも該当し、富山県内に所在地を有する出身学校長が責任を持って推薦できる者とする。

① 次のア又はイのいずれかに該当する者

ア 高等学校を平成31年3月卒業見込みの者又は平成30年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月修了見込みの者又は平成30年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

4 推薦人数

(1) 工学部

1校から推薦できる人数は、富山県内の高等学校等は6名以内、富山県外の高等学校等は5名以内とする（普通科と職業科の併設校にあっても同じ。）。

(2) 看護学部

1校から推薦できる人数は、富山県内に所在地を有する高等学校等から6名以内とする。

5 入試方法

(1) 工学部

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（数学、外国語）及び面接の結果を総合して行う。

① 試験期日・時間割・会場

期 日	事 項	時 間	会 場
平成30年 11月22日(木)	受験上の注意事項説明	8:40～ 9:00 (20分)	富山県立大学 射水キャンパス (富山県射水市黒河5180) 巻末の「試験会場案内図」を 参照のこと。
	基礎学力テスト(外国語)	9:00～ 10:00 (60分)	
	基礎学力テスト(数学)	10:40～ 11:55 (75分)	
	個人面接	13:05～	

② 基礎学力テストの実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準（注1）

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」の範囲から3問出題し、点数化して評価する。(注2)	75分

外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」の範囲から出題し、点数化して評価する。	60分
面接	志望理由、志望学科に関連した自然科学に関することなどについて質問し、論理的な思考力、判断力等を点数化して評価する。(注3)	

(注1) 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

(注2) 「数学B」は、「確率分布と統計的な推測」を除く。

(注3) 面接は、個人面接とする。

③ 基礎学力テスト等の配点

基礎学力テスト		面接	計
数学	外国語		
150点	100点	250点	500点

(注) 面接の配点には出願書類の評価を含む。

④ 志望学科の選択

- **機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。**
 - **環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。**
 - **生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。**
- なお、志願票の第2志望欄に記入が無い場合又は選択できない学科が記入されている場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。

⑤ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、試験当日、8時40分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。
- イ 各教科の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- ウ 試験当日は、**本学受験票**及び昼食を持参すること。試験中は、本学受験票を必ず机上に置くこと。試験当日、受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に本学入学試験実施本部で仮受験票の交付を受けること。
- エ 基礎学力テストにおいて、使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）に限る。なお、携帯電話など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。
- オ 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。
- カ 基礎学力テスト及び面接の一部でも受けない場合は、「失格」とする。
- キ 不正行為があった場合は、「失格」とする。

(2) 看護学部

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（外国語、数学）、小論文及び面接の結果を総合して行う。

① 試験期日・時間割・会場

期 日	事 項	時 間	会 場
平成30年 11月22日(木)	受験上の注意事項説明	8:40 ～ 9:00 (20分)	富山県立大学 射水キャンパス (富山県射水市黒河5180) (注1) 巻末の「試験会場案内図」を参照のこと。 (注2) 一般入試とは会場が異なるため注意すること。
	基礎学力テスト(外国語)	9:00 ～ 10:00 (60分)	
	基礎学力テスト(数学)	10:40 ～ 11:30 (50分)	
	小論文	12:35 ～ 13:25 (50分)	
	個人面接	14:05 ～	

② 基礎学力テストの実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準（注１）

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」の範囲から出題し、点数化して評価する。	60分
数 学	「数学Ⅰ・数学A」の範囲から出題し、点数化して評価する。	50分
小論文	文章や図表を提示し、読解力、論理的思考力、文章表現能力等を点数化して評価する。	50分
面 接	志望理由、志望学科に関連した内容について質問し、論理的な思考力、判断力等を点数化して評価する。（注２）	

（注１） 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

（注２） 面接は、個人面接とする。

面接で最低段階の評価を受けた者は、総合得点にかかわらず不合格とする。

③ 基礎学力テスト等の配点

基礎学力テスト		小論文	面接	計
外国語	数学			
100点	100点	100点	200点	500点

（注）面接の配点には出願書類の評価を含む。

④ 受験上の注意事項

ア 受験者は、試験当日、8時40分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。

イ 各教科及び小論文の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。

ウ 試験当日は、**本学受験票**及び昼食を持参すること。試験中は、本学受験票を必ず机の上に置くこと。試験当日、受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に本学入学試験実施本部で仮受験票の交付を受けること。

エ 基礎学力テスト及び小論文において、使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）に限る。なお、携帯電話など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。

オ 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。

カ 基礎学力テスト、小論文及び面接の一部でも受けない場合は、「失格」とする。

キ 不正行為があった場合は、「失格」とする。

6 出願手続

(1) 出願手続方法

出身学校長は、出願書類等を取りまとめて、志願者ごとに本学所定の出願書類用封筒に入れ、各学校単位で取りまとめ「書留速達郵便」で郵送すること。

(2) 出願期間

平成30年11月1日(木)から11月5日(月)まで（**期間内必着とする。**）

郵便事情を考慮して余裕をもって郵送すること。

出願期間後に到着したものは、受理しないので注意すること。

ただし、11月4日(日)以前の発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(3) 出願手続先

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学入学試験実施本部 ☎ (0766) 56-7500

(4) 出願書類等（★印はこの募集要項に同封の所定用紙及び所定封筒）

出 願 書 類 等	摘 要	
推 薦 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。	★
入学志願票(A)	13～14ページ「入学志願票記入上の注意」を参照のうえ記入すること。 入学志願票(B)は必ず黒鉛筆(HB)で記入すること。 ※入学志願票(B)をボールペンで記入した場合は、コンピュータで読み取れないので、注意のこと。	★
入学志願票(B)		
写 真 票	※印以外の欄を漏れなく記入すること。 裏面に、第1志望学科・氏名を記入した写真をのり付けすること（全面のり付け）。 写真は、出願受付日前3か月以内（平成30年8月1日以降）に帽子をつけないで上半身正面向きに撮った縦4cm×横3cmのもので本人と確認できるもの。 撮影した日（3か月以内（平成30年8月1日以降）の日）を必ず記入すること。 写真票と受験票は同一の写真をのり付けすること。	★
受 験 票		
受験確認票	氏名を記入すること。	★
入 学 考 査 料	17,000円 出願する学部に応じて本学指定の「平成31年度富山県立大学入学検査料振込依頼書 [推薦入試用]」を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行、郵便局を除く。）の窓口で納付すること。 納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、「入学検査料納付確認票」に全面のり付けして出願書類に同封すること。 ※工学部と看護学部で振込用紙が異なるため、必ず確認すること。	★
志 願 理 由 書	※印以外の欄を漏れなく記入すること。	★
調 査 書	出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したもの（「出欠の記録」欄で長期の欠席があった場合は、必ず備考欄にその診断名等を記入すること。）。	
出 願 書 類 用 封 筒	志願者欄を記入すること。 裏面の記載内容を確認し、間違いがなければチェック欄の「はい」を○で囲んだうえで、封入すること。	★

(5) 出願上の注意事項

- ① 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限るので注意すること。
- ② 工学部の志望学科の選択は、下記を確認のうえ記入すること。
 - 機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
 - 環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
 - 生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

なお、志願票の第2志望欄に記入が無い場合又は選択できない学科が記入されている場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。
- ③ 出願書類等の受理後は、志望学科など出願事項の変更を認めない。工学部の志望学科の選択には特に注意すること。（5ページ参照）

ただし、「入学志願票(A)」の「連絡先」については、出願書類等に関する照会、合格通知、その他緊急の際に必要なので、変更が生じた場合は、至急、本学入学試験実施本部へ届け出ること。

- ④ 出願書類等に記入漏れ、その他不備のある場合は、受理しない。
- ⑤ 出願書類は、理由のいかんを問わず返還しない。
また、いったん納付された入学検査料は、次の場合を除き返還しない。
ア 入学検査料を払い込んだが出願しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む。）
イ 入学検査料を二重に払い込んだ場合
＜返還請求方法＞
「振込受付証明書」を貼付した入学検査料の返還請求書を本学へ郵送すること。
請求書様式は本学ホームページ（<https://www.pu-toyama.ac.jp>）で確認するか、
本学に問い合わせること。※なお、この場合においても、入学検査料を振り込んだ際にかかった振込手数料は志願者の負担とする。
＜返還請求期限＞
出願締切から1か月以内
- ⑥ 受験票は、出願書類等を受理した後、出願手続を行った出身学校宛に送付する。
- ⑦ 入学許可の後においても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがある。
- ⑧ **障害等により受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は、平成30年10月19日(金)までに、下記事項を記載した書類（様式は任意）及び医師の診断書（写しで可）を添え、本学事務局教務課学生募集係（☎（0766）56-7500）に相談してください。**
- ・ 志望学部・学科
 - ・ 障害の種類・程度
 - ・ 受験上の配慮を希望する事項
 - ・ 修学上の配慮を希望する事項
 - ・ その他参考となる事項
- 上記の結果、必要な場合は、本学において志願者又は関係者等との面談を行います。
- ⑨ 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続等に関する個人情報が、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。
- ⑩ 出身学校長（高等学校等）から推薦入試に推薦された志願者は、国公立大学の一般入試について、分離分割の前期日程、後期日程又は公立大学中期日程からそれぞれ1つずつ、合計3つまでの大学・学部を選んで出願することができる。

7 合格発表

(1) 発表方法

本学射水キャンパスの玄関前に合格者の受験番号を掲示発表するとともに、合格者本人及び出身学校長宛郵便で通知する。また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載する。本学のホームページのアドレスは <https://www.pu-toyama.ac.jp>（携帯サイト <http://daigakuic.jp/pu-toyama/>）。なお、合否についての問い合わせには一切応じない。

(2) 発表期日

平成30年11月30日(金) 10時（予定）

(3) 合格しなかった者の取扱い

選抜の結果、合格しなかった者が本学の一般入試（個別学力検査等）を受験する場合は、改めて出願（出願期間は平成31年1月28日(月)から2月6日(水)までの**期間内必着**。詳

細は別冊の「学生募集要項 **一般入試**」を参照。) すること。従って、この場合には、大学入試センター試験の受験が必要となるので、あらかじめ平成31年度大学入学選抜大学入試センター試験に出願しておく必要がある。

8 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続書類等を取りまとめて、「書留速達郵便」で郵送すること。なお、封筒に工学部合格者は「**工学部入学手続書類在中**」と、看護学部合格者は「**看護学部入学手続書類在中**」と朱書きすること。

(2) 入学手続期間

平成30年12月4日(火)から12月6日(木)まで **(期間内必着とする。)**

(3) 入学手続先

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学入学試験実施本部 ☎ (0766) 56-7500

(4) 入学手続に要する書類等

① 誓約書等

本学が交付する用紙に記入すること。

② 入学料

ア 富山県の住民 188,000円
その他の者 282,000円

イ 本学指定の「入学金振込依頼書」を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行、郵便局を除く。）の窓口で納付すること。

納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、入学手続書類に同封すること。

③ 写真（1枚）

正面上半身無帽、背景なし、縦3cm×横2.4cm、入学手続前3か月以内に単身で撮影したもの。裏面に学部、学科、氏名を記入すること。

（入学後、修学上の届等に2枚必要なため、別に準備しておくこと。）

④ 入学許可書等送付用切手

92円切手を同封すること。

⑤ 卒業証明書又は修了証明書

平成31年3月15日(金)までに提出できない場合は、本学事務局に申し出ること。

(5) 入学手続上の注意事項

① 本学の推薦入試合格者は、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験することは認められない。たとえ、受験しても、受験者として取り扱われない（ただし、特別の事情により本学から推薦入学辞退の許可を得た場合を除く。）。

② 推薦入試合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、推薦入試合格者としての権利を消失する。この場合、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験することは認められない。たとえ、受験しても、受験者として取り扱われない（ただし、特別の事情により本学から推薦入学辞退の許可を得た場合を除く。）。

③ 推薦入試合格者で、平成31年度大学入学選抜大学入試センター試験に出願した者は、本学に大学入試センター試験受験番号を報告しなければならない。

- ④ 「富山県の住民」とは、本人又はその者の配偶者若しくは1親等の親族が平成30年4月1日から引き続き富山県内に住所を有する者及びこれに準ずると認められる者をいう。
「富山県の住民」の認定は、住民票等によって行う。
- ⑤ 入学手続きが全て終了した者には入学許可書を交付する。
- ⑥ いったん納付された入学料は、次の場合を除き返還しない。
- ア 入学料を過払いした場合
 - イ 入学料を二重に払い込んだ場合
- なお、この場合においても、入学料を振り込んだ際にかかった振込手数料は志願者の負担とする。
- 返還請求方法については本学に問い合わせること。
- 返還請求期限は平成30年12月28日(金)までとする。

9 推薦入学辞退

合格者で特別の事情により入学辞退を希望する者は、平成31年2月7日(木)までに「推薦入学辞退願」（様式は任意）を出身学校長を経由して、本学学長に提出し、その許可を得なければならない。

なお、「推薦入学辞退許可者」でなければ、既に出願済みの国公立大学の個別学力検査等を受験することは認められないので留意すること。

10 授業料等

(平成30年4月現在 看護学部も同額の予定)

区 分	金 額	納 入 時 期	摘 要
授 業 料	年額 535,800円	5月、11月	初年度の前期分は銀行振込、初年度の後期分以降については、半期ごとの口座振替となる。
学生教育研究災害傷害保険料	4,660円	入 学 時	4か年分
後 援 会 費	50,000円	入 学 時	4か年分
学 生 会 費	20,000円	入 学 時	4か年分
同 窓 会 費	10,000円	入 学 時	入会金

(注1) 授業料は年度によって変わることがある。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

(注2) 入学者は、一定の基準にあったノート型パソコンが必要となる。

一定の仕様・性能を備えているものであれば、必ずしも新規購入する必要はない。

(注3) 別途、教科書や実習等の経費が必要となる。

11 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構が実施する奨学金には給付型と貸与型の二種類がある。

① 給付型奨学金

支給期間終了後に返還の必要がない奨学金で、採用方法は予約採用のみとなっている。

希望者は在学する高等学校等（卒業後（高等専門学校の第3学年を修了後）2年以内の者は卒業（修了）した学校、高等学校卒業程度認定試験合格者は日本学生支援機構）の奨学金窓口に申し出る必要がある。

(平成30年4月現在)

区 分	支給月額	
給付型	自宅通学者	2万円
	自宅外通学者	3万円

② 貸与型奨学金

貸与期間終了後に返還の必要がある奨学金で、無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、採用方法は予約採用と在学採用がある。

予約採用の場合、希望者は在学する高等学校等の奨学金窓口に申し出る必要がある（給付型奨学金と同様）。予約採用の場合、採用決定は4～6月頃になる予定。

在学採用の場合、希望者は大学入学後、各年度の申請期間内に申請をする必要がある。申請のあった学生を大学が選考のうえ推薦し、最終的に日本学生支援機構が採用者を決定する。在学採用の場合、採用決定は7月頃になる予定。

(平成30年4月現在)

区 分	貸与月額	
第一種奨学金 (無利子)	自宅通学者	2万円、3万円又は4万5千円
	自宅外通学者	2万円、3万円、4万円又は5万1千円
第二種奨学金 (有利子)	2万円～12万円（1万円単位）からの選択制	

(2) その他

地方公共団体や公益財団法人、民間企業などが実施する奨学金については、学内の学生掲示板において情報を掲示している。

例) 富山県が貸与する奨学金制度「富山県奨学資金」、「富山県看護学生修学資金」等

12 授業料等の減免制度

(1) 特別免除（富山県出身入学者特待制度）

次の基準に該当する者について、1年間の授業料及び入学料を免除する制度がある。

① 1年次生

富山県内高等学校出身者のうち、大学入試センター試験の得点率が60%以上であり、本学入試における総合評価が高い者（全額免除）

推薦入試合格者で特別免除制度を希望する者は、大学入試センターが発行する「成績通知書」が必要となるので、大学入試センター試験の受験案内に従って、成績通知の申込みを行っておくこと。

ア 工 学 部…14名程度（前期日程合格者：概ね10名、後期日程合格者：概ね2名、推薦入試合格者：概ね2名）

○制度の選考にかかる大学入試センター試験の教科・科目及び配点（工学部）

教 科	国 語	数 学	理 科	外国語（英語）	計
科 目	前期日程合格者…前期日程試験で受験を要する科目 後期日程合格者…後期日程試験で受験を要する科目 推薦入試合格者…前期日程試験で受験を要する科目				
配 点	100点	200点	100点	200点	600点

イ 看護学部…8名程度（前期日程合格者：概ね6名、後期日程合格者：0～1名、推薦入試合格者：1～2名）

○制度の選考にかかる大学入試センター試験の教科・科目及び配点（看護学部）

教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語 (英語)	計
科目	前期日程合格者…前期日程試験で受験を要する科目 後期日程合格者…後期日程試験で受験を要する科目 推薦入試合格者…前期日程試験で受験を要する科目					
配点	150点	100点	150点	100点	200点	700点

② 2年次生以上

1年次において特別免除に該当し、前年次の成績が学科内で上位10%以内の者（収入基準により全額又は半額免除）

(2) 普通免除

次のいずれかに該当する者に対し、各期の授業料の全額又は半額を免除する制度がある。

- ① 経済的理由により、授業料の納入が困難であり、かつ、学業成績が優秀であると認められる者
- ② 入学前1年以内に学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が天災その他の災害を受けたことにより、授業料の納入が困難であると認められる者

13 福利厚生等

(1) 富山県立大学生生活協同組合

生協は、学生及び教職員の生活の安定と向上を目的とし、組合員から出資された出資金を基に幅広く事業を行っており、「食堂」、「生協購売部（食品、SHOP）」の営業を行っている。

(2) アパート・下宿

本学には、学生寮はないが、生協において大学周辺のアパート・下宿の空室情報等を提供している。

なお、希望する者は、富山県立大学生生活協同組合（☎（0766）56-8824）にその旨を連絡すること。

14 サークル活動

本学には体育系・文化系など多数のサークルがある。これらのサークルには学生の誰もが加入でき、顧問教員の指導・助言のもとに活発な活動を行っている。

15 特別授業の実施

工学部は推薦入学生を対象に入学前（3月頃）の「特別授業」を本学射水キャンパスで実施する予定である。工学を学ぶうえで必要不可欠な数学及び理科について、高校における学習を再学習することにより、大学の授業についていける学力を涵養することを目的とする。

16 個人情報の取扱い

志願者から提出された出願書類に記載されている氏名、住所等の個人情報については、本学の入学者選抜の目的以外で利用することや、第三者に提供することはない。